

はじめに

平成27年2月18日、秋田経済同友会の主催により、沿線の市、経済団体、企業、地域振興局等参加のもと、「秋田県中央地区と県北地区との地域連携シンポジウム」が開催されました。シンポジウムでは、県内産業は各分野で高度化の努力が続けられ地域の発展に寄与しているものの、少子高齢化の進展の中で地域が発展していくためには、これまで以上に地域戦略の構築と地域連携の強化が必要であること、そして、このためには日沿道の開通が重要な要素であることが強く認識されました。

このような折、日沿道の中で唯一整備に着手されていなかった現道活用区間の二ツ井白神～小繋間において、能代地区線形改良(二ツ井白神IC部分の線形改良)が今年度新規事業化となり、現道活用区間も含め日沿道の全 IC 間で整備が始まりました。地域戦略の構築を議論する適期と捉え、先の地域連携シンポジウムの参加メンバーを中心に、日沿道の完成を見据え県北地域が連携した地域展開方策について本年5月より議論を開始しました。

本とりまとめは、日沿道の開通を見据えた地域戦略の構築に取り組むに際し、まず最初に「これまでの日沿道の開通でどのような効果があったか」について整理・分析をおこなったものです。これをもとに、県北地域が連携し、これからの日沿道の開通を最大限活かした効果的な地域展開方策の立案、実行につなげてまいります。

秋田県北地域の今後の地域展開に関する意見交換会の進め方

